

未来

筆者は、昨年度の生徒会長山口桃佳さん
令和3年12月23日 第13号

新型コロナウイルス感染症により、日本中、世界中が前例のない困難に直面しています。

このような時にでも郡山第一中学校生徒一人一人が、夢や未来に向かって「あきらめない」との強い思いを抱き、進路実現を果たしてほしいとの願いがあります。「未来をあきらめない」「未来は変えられる」

文責 校長 宗形 俊二

明日から冬休み 終業式において

今年も残すところ一週間余りとなりました。学校は、本日で2学期が終了となります。

終業式も「三密」を回避するために、放送とZOOMによる式となりました。

そこで私から次のような話をしましたので、概要を紹介します。

今学期を振り返ってみれば、学校行事では体育祭、合唱コンクールを含めた開桜祭、そして、修学旅行や学習旅行など、コロナの影響で延期や規模を縮小してではありましたが実施できたことは、皆さんと共に喜びたいと思いますし、中学校生活の思い出の1ページとして心に刻むことができたことと思います。また対外的にも中体連大会はじめ各種コンクール等が開催された2学期でもありました。大会等での皆さんの活躍には、先程の表彰でもわかるとおり延べ535名の生徒が表彰されました。コロナ禍で大変暗いニュースが続いていた中で、皆さんの活躍は、私たちはもとより保護者や地域の方々に明るいニュースを届けることができ、同時に郡山第一中学校の名前を県内はもとより全国に発進することができました。～略～

さて、いよいよ明日から18日間の冬休みに入ります。冬休みは、家で過ごす時間が長くなるかと思いますが、一日24時間という平等に与えられた時間を大切に、健康に留意して有意義な冬休みを過ごして下さい。

現在、新しい変異種「オミクロン株」の感染者が日本でも増加傾向にあります。これからも新しい生活様式に基づく生活を心がけ、マスクの着用や毎日の検温、手洗い、うがい、換気など、私たちは、気を緩めることなく生活していかなければなりません。自分の健康や命を守ることは、同時に大切な家族や友達の健康や命を守ることに繋がっていることを再認識して、皆さんと一緒にチーム一中で、この難局を乗り越えていき、来年も郡山一中を盛り上げていきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願い致します。～略～

「感謝」今年一年大変お世話になりました。

今年一年、PTA役員の皆様はじめ保護者の皆様には、コロナ禍の中において、本校の教育活動に多大なるご理解とご支援、ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。お陰様で、「明日が見えない」という状況の中ではありましたが、子どもたちの健康・安全そして命を守ることを最優先に考え、「郡山一中のすべての子どもたちにハピネスを提供できれば」との思いで、PTA会長様はじめ役員の皆様、教職員等で知恵を出し合い創意工夫を発揮し、「何ができるか、何をすべきか等」を考え、「想いを形に」してきたところです。体育祭、合唱コンクール、修学旅行、学習旅行等の学校行事が時期変更や規模を縮小しての実施ではありましたが、開催できたことを大変うれしく思っています。また、対外的な大会やコンクール等での郡山一中生の活躍には目を見張るものがありました。いつも応援いただきありがとうございます。このようにコロナ禍でありながらも、子どもたちや私たち教職員が頑張れましたのは、保護者の皆様のご理解とご協力等の賜であると重ねて感謝を申し上げる次第であります。今後も、WITHコロナの難局を共に乗り越えていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

良いお年をお迎えください